

町田商工会議所 平成 29 年度「経営発達支援計画 評価会議（全 2 回）」を開催しました。

■第 1 回

■日時：平成 29 年 8 月 28 日（月）15：00～16：30

■場所：町田商工会議所 1 階会議室

■出席：委員 5 名、事務局 5 名

■第 2 回

■日時：平成 30 年 2 月 23 日（金）15：00～16：20

■場所：町田商工会議所 1 階会議室

■出席：委員 5 名、事務局 5 名

■内容

（1）平成 29 年度事業報告

- 次第に基づき事務局から報告。伴走型小規模事業者推進事業で採択された内容は全て実施済みであることを説明。→特に質問なし

（2）平成 29 年度経営発達支援計画の進捗状況について

【目標と実績値について】

- 消費税増税に伴うアンケートが 3 年実施されていないが、目標設定時と状況が異なり実施していないのは理解できる。そこで、目標自体を変更することを検討してみてはどうか。  
⇒他の会議所に状況を確認して、変更を検討する。
- 目標値について、成果を目標とするのが良いと思われるがどうか？  
⇒何をもって成果とするのかが曖昧で（売上／紹介／提案）、目標にするのは難しそう  
⇒効果がでるのが数年後となる事が多く、1 年の期間では難しい  
⇒「経営者が抱えている課題解決のきっかけの提供」という成果目標はどうか  
（例）活力向上の報告書に「〇〇の課題解決に寄与した」という表現から拾えば、  
数字の把握は可能  
⇒同じアンケートを「支援を受けた所」と「支援を受けていない所」に実施して、その回答を比較するという手法もある。その結果を公表することで「支援を受けていない事業所」が興味を持つ可能性がある。

【良い点】

- 経営課題解決支援件数が目標 40 に対し 135 件と良い
- 事業計画策定、個別相談会も良い
- 目標に対し良かった項目はなぜよかったのかをまとめておくと良い

【質問など】

- 町田市名産品認定品目数は毎年累積されるという意味か？  
⇒累積ではなく 2 年毎にゼロになるので、現時点で 60 種類あるということである。

### (3) 平成 30 年度経営発達支援計画に向けて

- 目標値の変更ができるのであれば、その時に町田らしい目標も設定できたら良い。
- 展示会の商談件数、経営革新が少ないので来年度以降少し上げられると良い
- 人気のあるセミナーについて、経営者、従業員など階層別で同じタイトルで行うという手法もある。
- 目標に対して実績が良いものについては、2回実施しても良い。
- 消費税増税に対するアンケートという目標設定から「増税が止まったことによるアンケート」にしてもいいのではないか
- 需要動向調査に関することが実施 0 になっているので、平成 30 年度はビックデータの活用などを視野にいれた伴走型補助金の計画申請を行い、0 を回避できるような計画が望ましい
- 毎年目標値が上がっているようだが大丈夫か？創業スクールも目標を見ると達成していないが、前年実績と比較すれば大きく伸びている。もともとの目標がやや厳しかったのではないかと考えてしまうが計画変更ができるのであれば検討しても良いのではないか。
- 過去に創業スクールを受けて、既に創業した人 2 年目、3 年目向けのセミナー企画も良いのではないか。
- 創業スクールは「何かに明確で特化した」テーマがあると集客しやすい。(例／女性・事業承継)
- 国も力を入れている事業承継に関する事業ができればよい。例えば、創業したい人と事業承継先に悩んでる人とのマッチングなど。

当所では『経営発達支援計画 評価会議』を開催し、委員からの助言のもと、各支援機関、行政機関と連携し、伴走型の経営支援に努め、様々な小規模事業者に対する振興策を実施してまいります。